SONY

3-862-371-**04** (2)

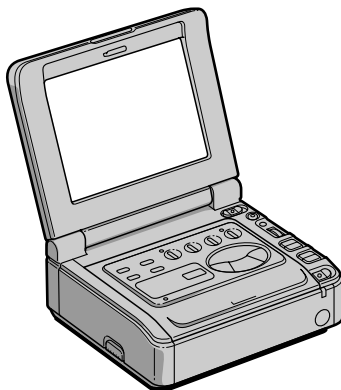
デジタルビデオカセットレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

GV-D900

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

CM カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカセットレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

「撮影日で頭出しする－日付サーチ」(10ページ)
「見たい静止画を探す－フォトサーチ」(12ページ)

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」(11ページ)
「タイトルを入れる」(23ページ)
「タイトルを作る」(26ページ)
「カセットになまえを付ける－カセットラベル」(28ページ)

詳しくは52ページをご覧ください。

CMのみ カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により録画がされなかった場合、録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

別売りアクセサリーについて

テレビチューナーユニットTGV-100：本機に取り付けると、本機で簡単にテレビ番組を見たり録画したりすることができます。

目次

基本

応用

再生

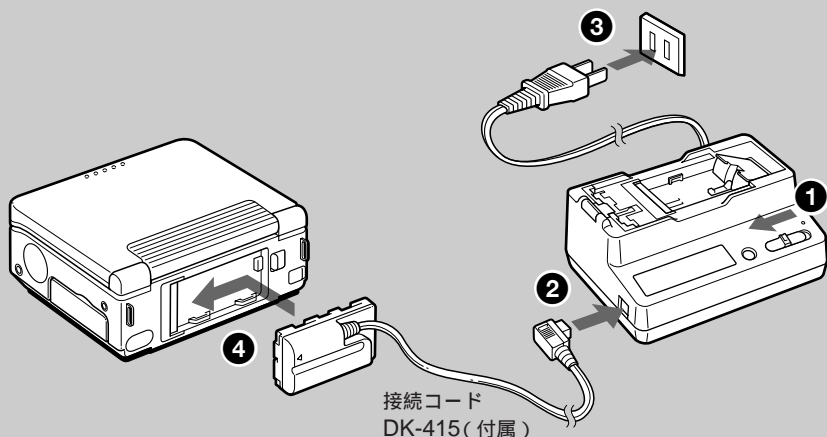
編集

その他の使いかた

編集機として使う

その他

準備1 電源をつなぐ

ここではACチャージャーAC-V700を使った例を説明します。
ACチャージャー（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続コード
DK-415（付属）

ご注意

- 接続コードを引っぱらないようにしてください。プラグがコンセントから抜けることがあります。
- 本機をACチャージャーに近づけすぎないでください。画面にノイズが出ることがあります。

屋外では

バッテリーや自動車の電源を使います。（36ページ）

❶ モード切換スイッチを「ビデオ／カメラ」にする。

❷ 接続コードをつなぐ。

❸ コンセントにつなぐ。

❹ 接続プレートを押しながら、左にずらす。

接続プレートをはずすとき

バッテリー取りはずしつまみを押しながら、右にずらす。

準備2 カセットを入れる

ご注意

カセットぶたが開いているときに、カセット入れに指を入れたり中を触ったりしないでください。故障の原因になります。

❶ **押ー開ボタンを押しながら、液晶パネルを開く。**

❷ **カセット取出しつまみの青のボタンを押しながら、右にずらす。**

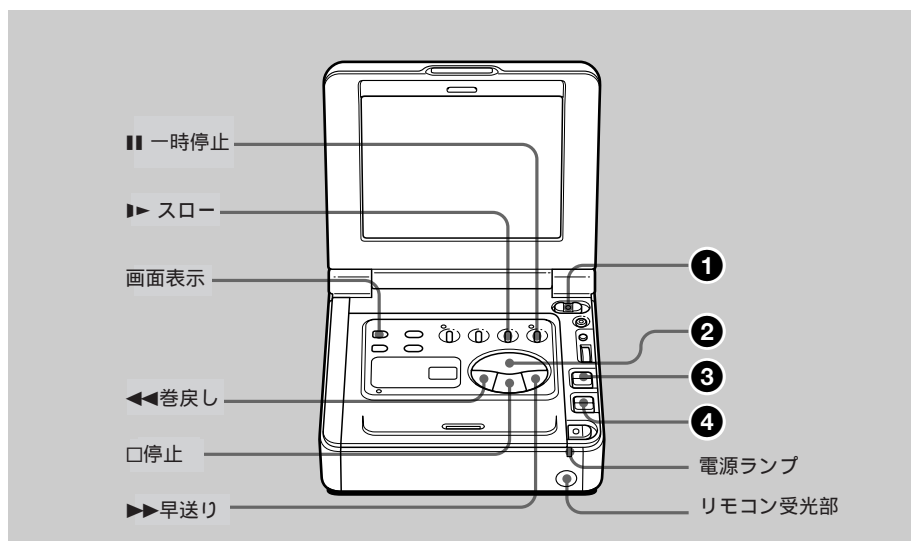
カセット入れが自動的に開く。

❸ **テープ窓を上側にして入れる。**

❹ **押マークを押して、カセットぶたを閉める。**

カセットを取り出すとき

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順❸で取り出す。

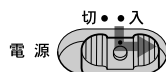
再生する

ご注意

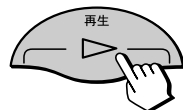
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。
- 液晶画面を太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 外国製のビデオソフトの中には、カラーテレビ方式が異なるため本機では再生できないものがあります。

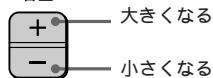
画面表示を出すには

画面表示ボタンを押します。消すときは、もう一度押します。

❶ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

本体前面の電源ランプ（緑）が点灯する。

❷ ▷再生ボタンを押す。

再生が始まる。

❸ 明るさを調節する。

❹ 音量を調節する。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度▷再生ボタンを押します。

変速再生中は
音声は出ません。

ヘッドホンで音を聞くには
ヘッドホン（別売り）を🎧（ヘッドホン）端子につなぎます。音量＋／－ボタンで音量調節ができます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーから音は出ません。

いろいろな再生

止める

[再生中] に□停止ボタンを押す。

静止画を見る

[再生中] に❚❚一時停止ボタンを押す。一時停止ランプ（オレンジ）が点灯する。

もう一度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[再生中] に□停止ボタンを押し、▶▶早送りボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[再生中] に□停止ボタンを押し、◀◀巻戻しボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする

[再生中] に▶▶早送りボタン/◀◀巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] に▶▶早送りボタン/◀◀巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

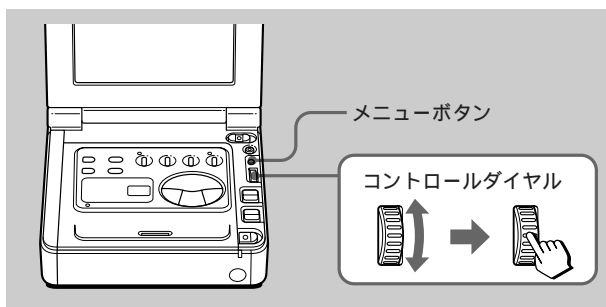
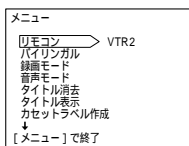
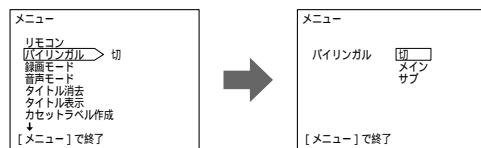
スロー画を見る

[再生中] に❚►スローボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

次のページへつづく

ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープを再生する

二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの「バイリンガル」を設定して、音声を選んでください。

1 **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

2 **コントロールダイヤルを回して「バイリンガル」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ コントロールダイヤルを回し、音声を選んで、ダイヤルを押す。

「バイリンガル」の設定	聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「切」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	左音声	主音声
「サブ」	右音声	副音声

❹ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

リモコンで操作する

他のソニー製品に付属のリモコンで本機を操作できます。

メニューの「リモコン」で、お使いになるリモコンのリモコンコードを合わせてください。（30ページ）

リモコンコード	ソニー製品
VTR1	ベータマックスビデオカセットレコーダー
VTR2	8mmビデオカメラレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー 8mmビデオカセットレコーダー
VTR3	VHSビデオカセットレコーダー
VTR4	デジタルビデオカセットレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー
VTR5、VTR6	ー

見たい場面を探す

ソニーのデジタルビデオカメラレコーダーに付属のリモコンを使って、見たい場面を探すことができます。デジタルビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

画面上の短いカーソルは
前回頭出しした位置を表します。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
日付サーチが正しく働かないことがあります。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなどに便利です。

- カセットメモリーを使った日付サーチ➡画面で撮影日を選んで頭出し
- カセットメモリーを使わない日付サーチ➡撮影した日付の変わり目を頭出し

カセットメモリーを使って頭出しする

カセットメモリー付きカセットでのみできます。

❶ メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（30ページ）

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

日付サーチ画面が出る。

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

□ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

1 メニューで「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（30ページ）

2 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

3 リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

□ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

タイトルを入れるには
23ページをご覧ください。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

CM のみ　カセットメモリー付きカセットの場合は、タイトルを入れた場面を探せます。

1 メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（30ページ）

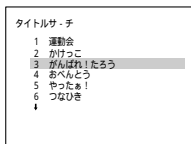
お買い上げ時は「入」に設定されています。

2 リモコンのサーチ選択ボタンを押して、タイトルサーチを選ぶ。

タイトルサーチ画面が出る。

次のページへつづく

❸ リモコンの⏮またはボタン⏭を押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

□ 停止ボタンを押す。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
フォトサーチが正しく働かないことがあります。

見たい静止画を探す –フォトサーチ／フォトスキャン

フォトモードで撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。

また、静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。

静止画を確認したり、静止画をまとめて編集するときなどに便利です。

- カセットメモリーを使ったフォトサーチ➡画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し
- カセットメモリーを使わないフォトサーチ➡撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

カセットメモリーを使って静止画を探す ーフォトサーチ

カセットメモリー付きカセットでのみできます。

❶ メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（30ページ）

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。

フォトサーチ画面が出る。

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

□ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す
ーフォトサーチ

❶ メニューで「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（30ページ）

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

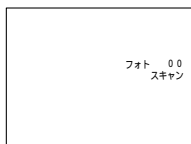
ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

□ 停止ボタンを押す。

静止画を次々に出して探す－フォトスキャン

❶ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。

フォトスキャン画面が出る。

❷ リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

静止画が順に5秒ずつ表示される。

フォトスキャンを止める

□ 停止ボタンを押す。

撮影日時とカメラデータを画面に出す – データコード

データコード機能付きのビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは、再生中に、撮影したときの日付・時刻やカメラデータを確認できます。ビデオカメラレコーダーに付属のリモコンで操作します。

データコード機能とは、撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録する機能です。

次のときは、--:--:--を表示します。
- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ

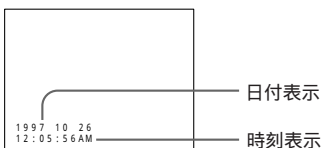
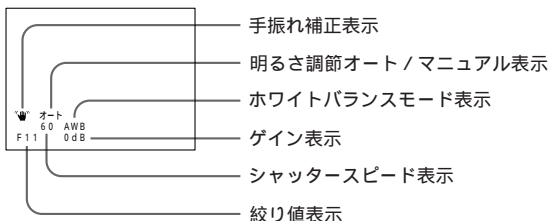
データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。

[再生中] に、リモコンのデータコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

日付の表示

カメラデータの表示

カメラデータ表示を出さないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。（30ページ）

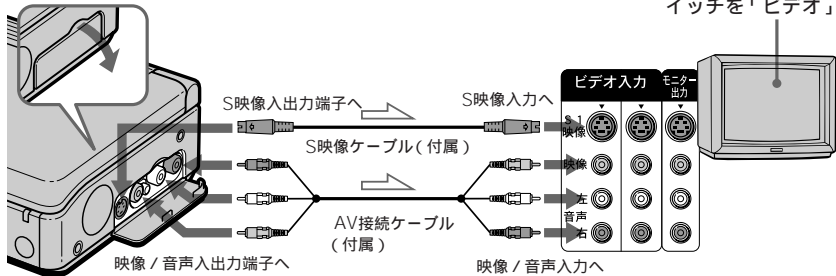
データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」→（表示なし）

応用－再生－

テレビで見る

本機を付属のS映像ケーブルやAV接続ケーブルでテレビにつなぐと、ビデオの再生をテレビ画面でたのしめます。接続ケーブルのプラグを本機やテレビの同色の端子につなぎます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。本機の音量は最小にしてください。

テレビにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。
（S映像端子と接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

テレビ画面にデータコードなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし、画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。（本機側も赤いプラグは接続不要です。）

音声はモノラルです。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき

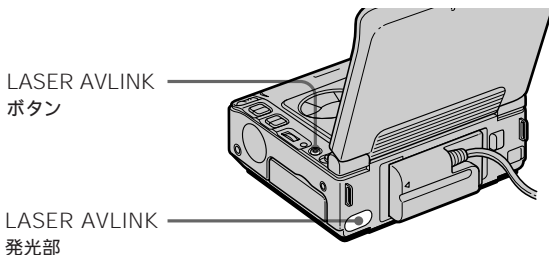
別売りのRFUアダプターでつなぐ。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声はモノラルです。

ケーブルを使わずに見るーLASER AVLINK

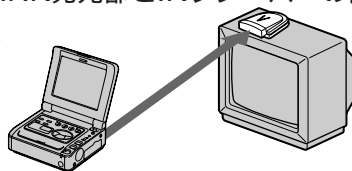
別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

❶ テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。

❷ テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

❸ LASER AVLINKボタンを押す。

ボタンのランプ（赤）が点灯する。

❹ LASER AVLINK発光部とIRレシーバーの向きを合わせる。

❺ ▷再生ボタンを押す。

再生が始まる。

LASER AVLINKを解除する

LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

LASER AVLINK（レーザーエーブイリンク）とは

マークのあるLASER AVLINK対応の機器間で赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定して、テレビの主電源を入れておくと、下記の2つの方法で自動的にテレビの電源を入れられます。
  ーLASER AVLINK発光部をテレビのリモコン受光部に向けて、LASER AVLINKボタンを押す。
  ーLASER AVLINKボタンを点灯させて、▷再生ボタンを押す。
- TV入力切り換えについて
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子（ビデオ1/2/3）と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。（テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。）
- 機種によっては、操作できないことがあります。

本機の電源スイッチを「切」にすると

LASER AVLINKが自動的に解除されます。

レーザーAVリンクを使うと

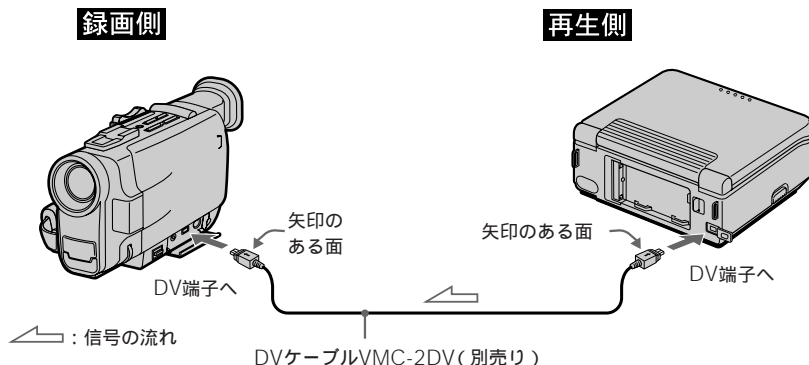
バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときは、LASER AVLINKボタンを押してランプを消しておいてください。

他のビデオへ録画する–ダビング編集

DV接続ケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のDVケーブルVMC-2DV（別売り）でつなぎダビング・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。

DVケーブルで本機と接続できるのは1台だけです

本機は録画機としても使えます
DVケーブルをつなぎかえなくても録画機または再生機として使えます。録画機として使うときは、液晶画面に「DV入力」の表示が出るのを確認してください。両方の機器に出ることもあります。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

本機を録画機として使うときは
本機を録画機としてデジタルダビングしているときのモニターに色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

1. **本機に録画済みのカセットを、他のビデオ（録画機）に録画用のカセットを入れる。**
2. **本機の電源を入れる。**
3. **本機のカセットを再生し、他のビデオ（録画機）に録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。**
4. **他のビデオ（録画機）を録画一時停止にする。**
5. **本機と他のビデオ（録画機）のII一時停止ボタンを同時に押す。**

AV接続ケーブルでつなぐ

本機と他のビデオ機器をAVケーブルでつないで、ダビング・編集ができます。本機は再生機としてお使いください。

他のビデオ（録画機）はDV方式だけでなく、以下のどの方式のビデオでも使えます。

8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β, ED Beta

ビデオにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。（S映像端子を接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

音声入力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

ダビングの際は
次のボタンを押して画面の表示を消してください。
- 画面表示
- データコード（リモコン）
- サーチ選択（リモコン）

消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

より精度の高い編集をするには
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能のあるビデオデッキと本機のLANC端子をLANCケーブルでつなぎます。

1 本機に録画済みのカセットを、他のビデオ（録画機）に録画用のカセットを入れる。

2 本機の電源を入れる。

3 本機のカセットを再生し、他のビデオ（録画機）に録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

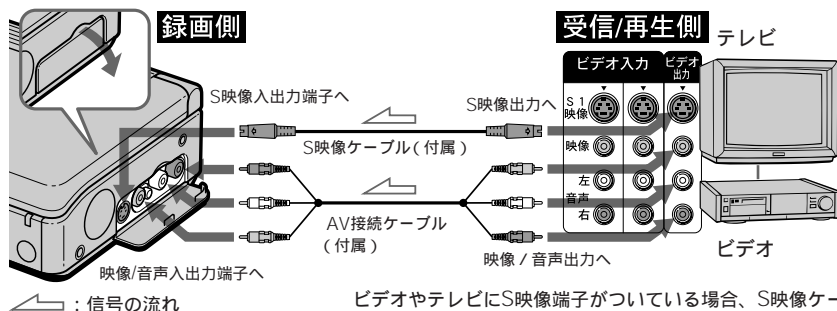
4 他のビデオ（録画機）を録画一時停止にする。

5 本機と他のビデオ（録画機）のII一時停止ボタンを同時に押す。

ビデオやテレビの画像を録画する

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ジャックカバーを開ける

別売りのテレビチューナーユニットTGV-100を使うと、テレビに接続しなくてもテレビ番組を録画できます。詳しくはテレビチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ビデオやテレビにS映像端子がついている場合、S映像ケーブルをつなぐと、録画画像がより鮮明になります。S映像端子がない場合、本機にS映像ケーブルはつながないでください。

ご注意

- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。
- メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」でカウンターなどを画面表示しているときは、映像が出ません。「パネル」に切り換えてください。
- 著作権保護のための信号が記録されている画像は、本機では録画できません。

音声出力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

録画一時停止が5分以上続くと
自動的に停止になります。

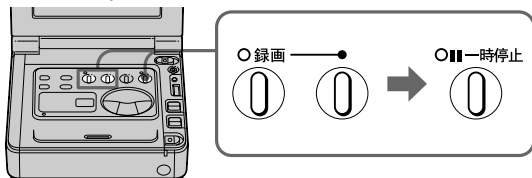
TGV-100を使って録画した場合
音声は16BIT モードになります。

1 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源を入れる。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に出る。

3 本機を録画一時停止にする。

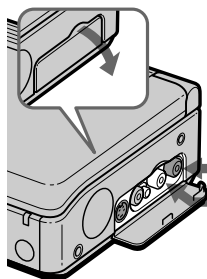
録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。録画ランプ（赤）と一時停止ランプ（オレンジ）が点灯する。

4 他のビデオで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

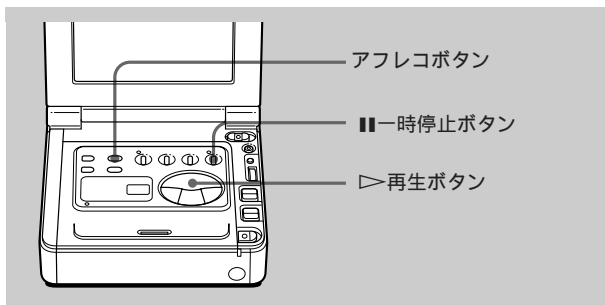
5 録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

一時停止ランプが消え、録画が始まる。

録画済みテープに音声を追加する– アフレコ

オーディオ機器をつないで録音します。

オーディオ機器とつないで、録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。元のテープの音声は消えません。

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません（31ページ）。
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- DV端子を使って再生一時停止の画像をダビングした部分にはアフレコできません。
- DV端子からはアフレコできません。

❶ 本機に録画済みカセットを入れる。

❷ 本機の電源を入れる。

本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（GV-D900を含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

録画一時停止が5分以上続くと
自動的に停止になります。

❸ アフレコの開始点を決める。

本機の▷再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところで❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ 本機のアフレコボタン押す。

❺ 本機の❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器で追加する音声を出す。

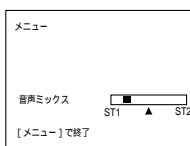
画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録します。元のテープの音声（ステレオ1）は出ません。

❻ アフレコを終了したいところで本機の□停止ボタンを押す。

アフレコ中の音声を聞くには
ヘッドホンを使うか、LASER AV LINKを使ってテレビで確認してください。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューの音声ミックスで元のテープの音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

カセットメモリー付きカセットに録画されていれば、再生中または再生一時停止中にタイトルを入れることができます（インデックスタイトラー機能）。

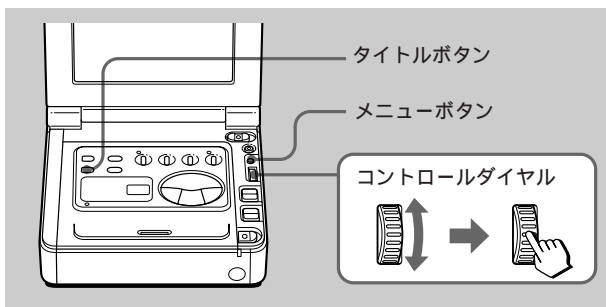
再生したときにタイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。

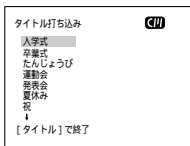
あらかじめ記憶している8種類のタイトルと1種類の自分で作ったタイトルの中から内容にあったものを選べます（「タイトルを作る」26ページ）。

タイトルの種類
次のタイトルが順に表示されます。自分で作ったタイトルがある場合は、「オリジナルタイトル作成」の上に出ます。
- 入学式
- 卒業式
- たんじょうび
- 運動会
- 発表会
- 夏休み
- 祝
- 完
- オリジナルタイトル作成

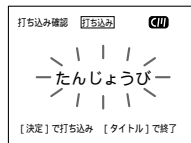
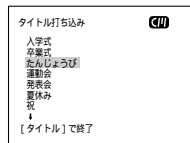
テープの無記録部には
タイトルを入れられません。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
タイトルが正しく表示されないことがあります。

本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックス信号として誤検出されることがあります。

1 **タイトルボタンを押す。**

タイトル選択画面が出る。

2 **コントロールダイヤルを回して希望のタイトルを選び、ダイヤルを押す。**

タイトルが点滅する。

次のページへつづく

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なタイトルなどを消去してください。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

「色」は次の順で変わります
しろ←→きいろ←→みずいろ←→みどり←→むらさき←→あか←→あお

「サイズ」は次の順で変わります
ちいさい←→おおきい
「おおきい」を選んだとき、画面内に入るのは12文字までです。13文字以上のタイトルは字が欠けてしまいますので、「ちいさい」を選んでください。

「位置」の調節は
「サイズ」で「ちいさい」を選んでいるときは9段階、「おおきい」を選んでいるときは8段階に変えられます。

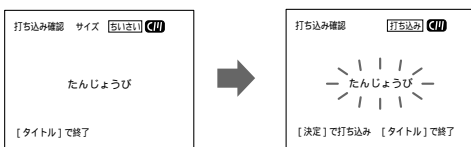
タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。

❸ 色、サイズ、位置を選択する。

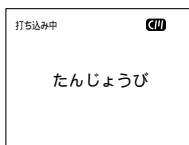
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順4にすすむ。

1 コントロールダイヤルを回して「色」または「サイズ」、「位置」を選び、ダイヤルを押す。

選べる項目が出る。

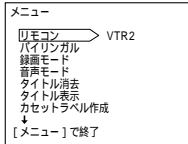
2 コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❹ タイトルを確認し、コントロールダイヤルを押す。

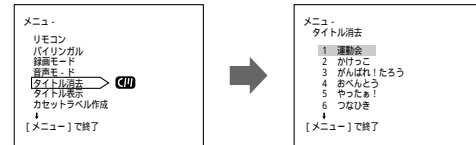
「打ち込み中」の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

1つのカセットに記憶できるタイトルは

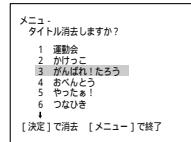
平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

タイトルを消す

❶ メニューボタンを押す。

❷ コントロールダイヤルを回して「タイトル消去」を選び、ダイヤルを押す。

タイトル消去画面が出る。

❸ コントロールダイヤルを回して消したいタイトルを選び、ダイヤルを押す。

「タイトル消去しますか」の表示が出る。

❹ 消去するタイトルを確認し、コントロールダイヤルを押す。

メニュー画面を消す

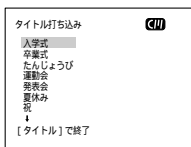
メニューボタンを押す。

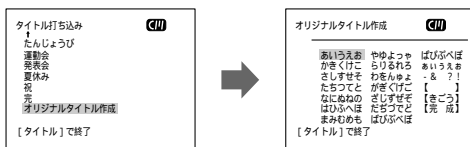
タイトルを作る

自分で20文字以内でタイトルを作って本機に記憶できます。記憶できるタイトルは1種類です。

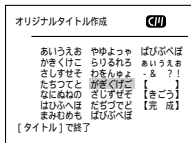
カセットメモリーのついたカセットでのみできます。

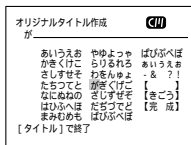
❶ タイトルボタンを押す。

タイトル選択画面が出る。

❷ コントロールダイヤルを回して「オリジナルタイトル作成」を選び、ダイヤルを押す。

オリジナルタイトル作成画面が出る。

[きごう] を選ぶと
アルファベットと記号などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
←を選びます。一番後ろの文字が消えます。

❸ コントロールダイヤルを回して希望の文字が入っている部分を選び、ダイヤルを押す。

❹ コントロールダイヤルを回して希望の文字を選び、ダイヤルを押す。

次の文字に移ります。

❺ 必要なだけ手順3、4を繰り返す。

❻ コントロールダイヤルを回して [完成] を選び、ダイヤルを押す。

タイトルが記憶される。

作成したタイトルを変更する

手順❷で変更したいオリジナルタイトルを選ぶ。[←] を選んでダイヤルを押して一文字ずつ消し、文字を選び直す。

カセットになまえを付ける－カセットラベル

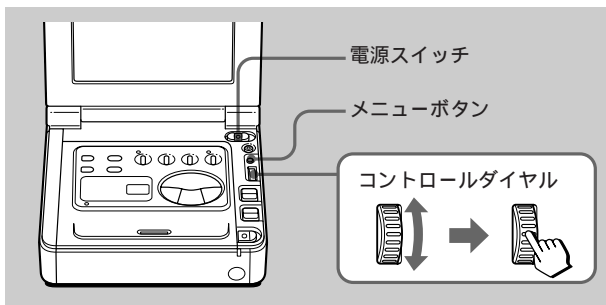
カセットメモリー付きカセットには、10文字までのなまえを付けることができます。

なまえを付けたカセットを入れ、電源を入れると、付けたなまえが自動的にテレビ画面に約10秒間表示されます。

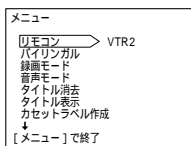
誤消去防止状態のカセットでは
カセットに名まえをつけられません。
誤消去防止ツマミを元に戻してください。

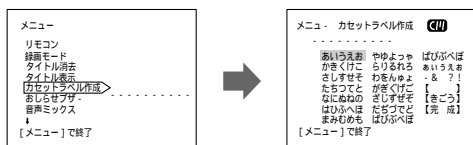
カセットメモリーの容量がいっぱいのとき
マークが出ます。そのカセットに入っているタイトルを消せば、カセットになまえを付けられる容量ができます。

タイトルが入れてあると
カセットのなまえが表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

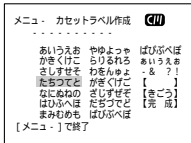
文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

1 なまえを付けたいカセットを入れる。

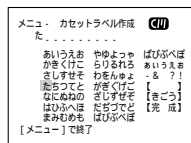
2 電源を入れる。

3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

4 コントロールダイヤルを回して「カセットラベル作成」を選び、ダイヤルを押す。

カセットラベル作成画面が出る。

[きごう] を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
←を選びます。一番後ろの文字が消えます。

❺ コントロールダイヤルを回して希望の文字が入っている部分を選び、ダイヤルを押す。

❻ コントロールダイヤルを回して希望の文字を選び、ダイヤルを押す。

次の文字に移ります。

❼ 必要なだけ手順5、6を繰り返す。

❽ コントロールダイヤルを回して「完成」を選び、ダイヤルを押す。

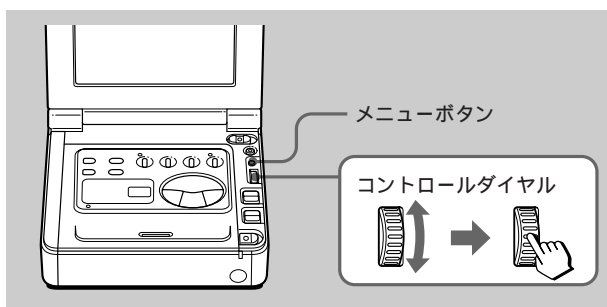
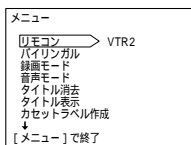
カセットラベルが記憶される。

作成したカセットラベルを消す

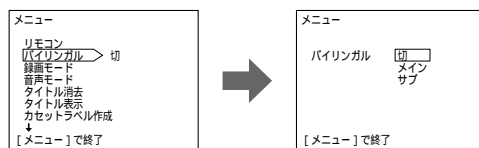
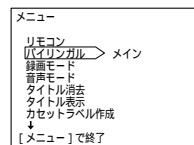
上の手順5で←を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

メニューで設定を変える

❶ メニューボタンを押す。

❷ コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。

希望の項目だけが表示される。

❸ コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。

❹ 必要なだけ手順❷、❸を繰り返す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

項目	設定	意味	どんなとき
リモコン	●VTR2	リモコンで働く	ソニー製ビデオカメラレコーダーのリモコンを使うとき
	VTR 1～6	リモコンで働く	ソニー製品のリモコンを使うとき（→詳しくは9ページ）
	切	リモコンが働かない	他機のリモコンによる誤動作を防ぐとき
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生	→詳しくは8ページ
	メイン	左音声または主音声で再生	
	サブ	右音声または副音声で再生	
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する	通常はこの位置へ
	LP	LP（長時間）モードで録画する	長時間録画したいとき
音声モード	●12BIT	2つのステレオ音声が記録できる	通常はこの位置へ
	16BIT	高音質で1つのステレオ音声が記録できる	高音質で録画したいとき
タイトル消去		タイトルを消す	→詳しくは25ページ
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す	通常はこの位置へ
	切	タイトルを出さない	再生時にタイトルを出したくないとき
カセットラベル作成		カセットになまえを付ける	→詳しくは28ページ
おしらせブザー	●入	電源を入れたり、誤った操作をしたときなどにブザーが鳴る	通常はこの位置へ
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき
音声ミックス		音声モードST1←→ST2間のバランスを調節する	→詳しくは22ページ

ご注意

「音声モード」が「16BIT」のときは、アフレコできません。

LPモードについて
- 録画時間はSPモードの録画時間の1.5倍となります。
- 本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

電源をはずして5分以上たつと

「リモコン」と「バイリンガル」、「音声ミックス」はお買い上げ時の設定に戻ります。その他のメニュー項目では電源をはずしても設定を保持しています。

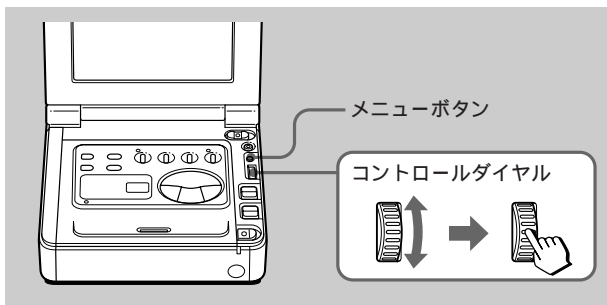
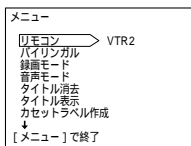
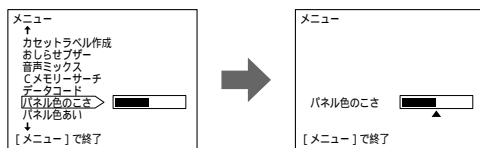
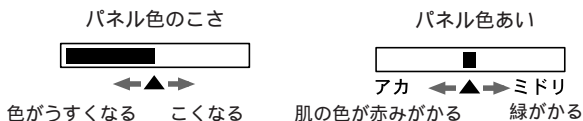
次のページへつづく

メニューで設定を変える（つづき）

項目	設定	意味	どんなとき
Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する	→詳しくは10ページ
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない	→詳しくは11ページ
データコード	●日付／カメラデータ	リモコンのデータコードボタンを押したとき、日付・時刻とカメラデータを表示する	日付・時刻とカメラデータを確認したいとき
	日付データ	日付・時刻を表示する	日付・時刻だけを確認したいとき
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節	→詳しくは33ページ
パネル色あい		液晶画面の色あいを調節	→詳しくは33ページ
画面表示	●パネル	画面表示ボタンを押したときに画面表示を液晶画面に出す。	通常はこの位置へ
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	テレビで見るときに画面表示を出したいとき
オートTVオン	●切	ー	→詳しくは17ページ
	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にテレビの電源を入れる。	
TV入力切りかえ	●ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にテレビの入力を切り換える（「オートTVオン」が「入」のときのみ）。	→詳しくは17ページ
	切	テレビの入力切り換えをしない。	
日時あわせ		ー	時計を合わせ直すとき →詳しくは34ページ

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力できなくなります。

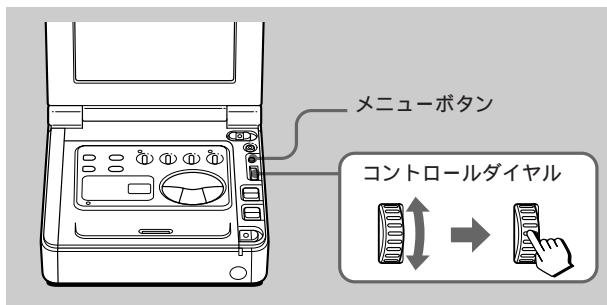
液晶画面の色あい・色のこさを調節する

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 コントロールダイヤルを回して「パネル色のこさ」または「パネル色あい」を選び、ダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して「パネル色のこさ」または「パネル色あい」を調節し、ダイヤルを押す。

4 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

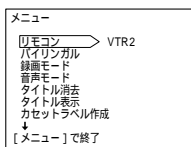
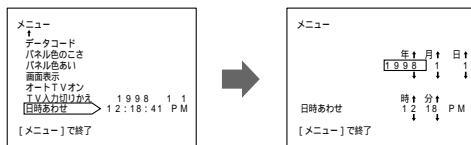
応用－その他の使いかた－

日付・時刻を合わせ直す

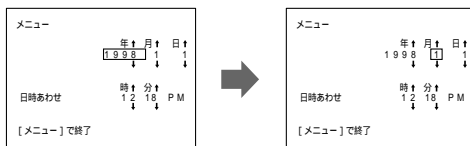
お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、半年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（62ページ）

しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

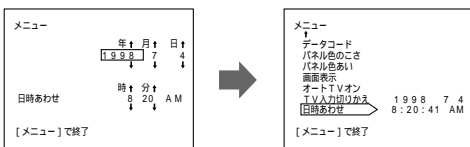
真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❷ コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。

❸ 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

❹ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。

❻ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

屋外で使う

屋外では、別売りのバッテリーや、自動車の電源でお使いになれます。

別売り機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

バッテリー	再生時間
NP-F730	約100 (90) 分
NP-F750	約115 (105) 分
NP-F930	約160 (135) 分
NP-F950	約185 (165) 分

（ ）内は実用充電してから、それ以外は満充電してから使用したときの時間です。

上記以外のバッテリーを使うと
容量が小さいバッテリーでは、うまく動作しないことがあります。

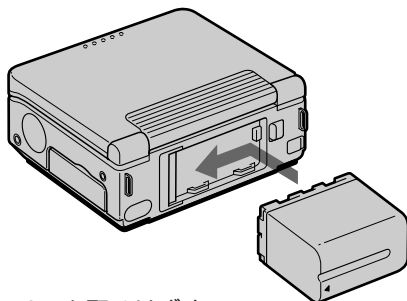
バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
”インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は”インフォリチウム”バッテリー対応です。”インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

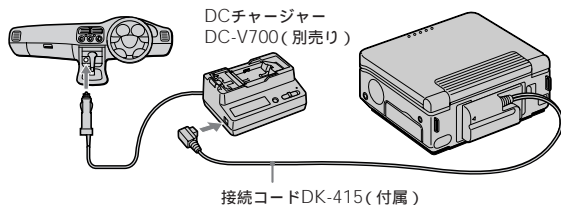
バッテリー残量時間表示について
”インフォリチウム”バッテリーをお使いのときは、あと何分連続で使えるかを液晶画面に表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。液晶画面を閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

バッテリーで使う

バッテリーNP-F950など（別売り）をお使いになれます。

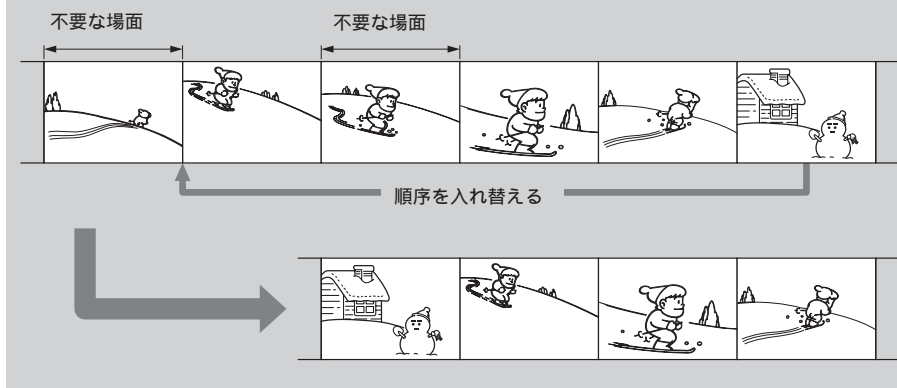
バッテリーは確実に取り付けてください。

バッテリーを取りはずす

バッテリー取りはずしつまみを押しながら、右にずらす。

自動車内で使う

接続プレートを取りはずす

バッテリー取りはずしつまみを押しながら、右にずらす。

アッセンブル編集とは

録画済みのテープの中から、不要な場面を取り去り、必要な場面を、好みの順序でつなぎ合わせることを「編集」といいます。
本機では、テープを再生しながら、必要な場面（プログラム）を次々に選んで、最後にまとめて（アッセンブル編集）、別のテープにダビングすることができます。

編集機として使う

アッセンブル編集の説明に使用される用語

プログラム
アッセンブル編集でつなぎ合わせていく、ひとつひとつの場面

ここから
プログラムの始め

ここまで
プログラムの終わり

プレビュー
プログラムの内容を確認する

タイミング補正
録画機の、録画開始時や終了時のタイミングのズレを補正すること

アッセンブル編集の手順

準備する

「録画機を操作するための設定を行う」と「録画機のタイミング補正をする」は、最初にのみ行います。同じ録画機であれば、2回めからは行う必要はありません。

❶ **録画機をつなぐ。**（38ページ）

❷ **録画機を操作するための設定を行う。**（39ページ）
録画機のリモコンコードと録画一時停止を解除するボタンを設定します。その後、録画機がきちんと動くか確認します。

❸ **録画機のタイミング補正をする。**（42ページ）

編集する

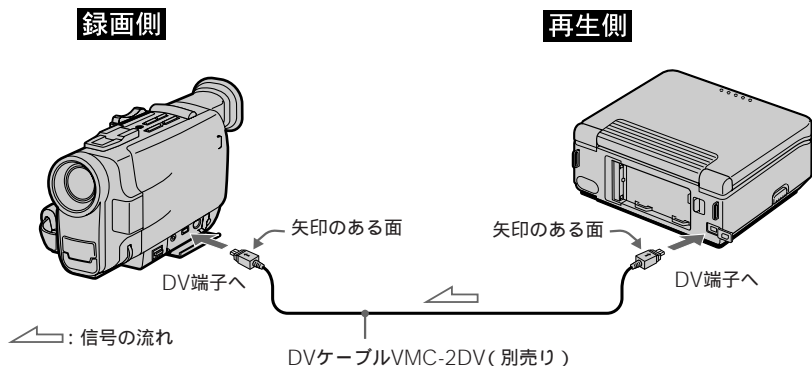
❶ **プログラムを選ぶ。**（45ページ）
「ここから」と「ここまで」を選びます。

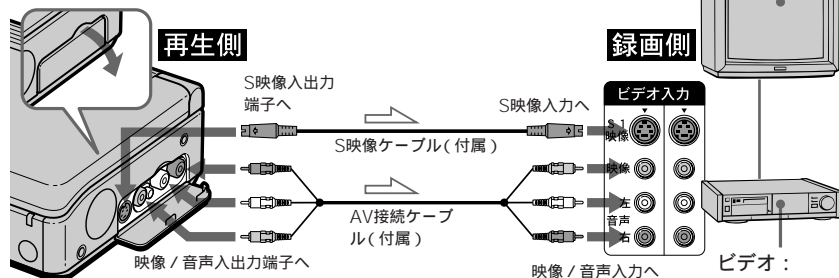
❷ **選んだ場面を確認するープレビュー。**（47ページ）

❸ **アッセンブル編集をする。**（51ページ）

準備1 録画機をつなぐ

赤外線リモコン対応の録画機をつなぎます。
詳しくは、「他のビデオへ録画する－ダビング編集」（18、19ページ）をご覧ください。

DV接続ケーブルでつなぐ

DV端子と映像端子の両方をつないでいるときは、DV端子の信号が録画されます。

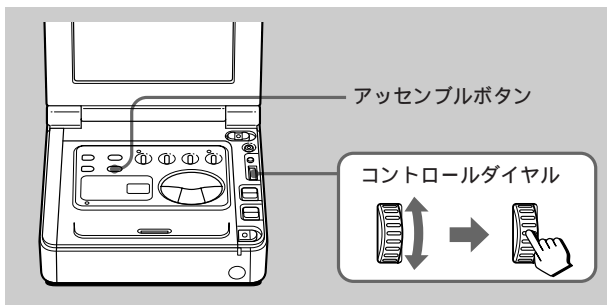
AV接続ケーブルでつなぐ

ビデオにS映像端子がついている場合、S映像端子を使うと再生画像がより鮮明になります。（S映像端子を接続したときはAV接続ケーブルの黄色い映像端子は接続不要です。）

準備2 録画機を操作するための設定を行う

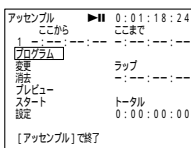
リモコンコードについて

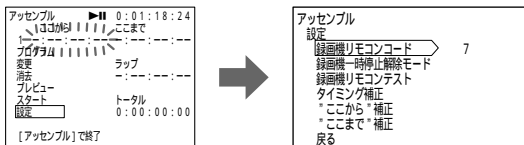
- 本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時は、「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キャノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
NEC	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	82
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90
東芝	39、40、68
ユピテル	47

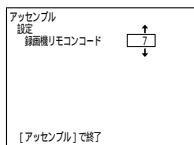
- 接続する機器によってはリモコンコードが対応していないために、アッセンブル編集ができないものがあります。

リモコンコードを設定する

1 アッセンブルボタンを押す。

アッセンブル画面が出ます。

2 コントロールダイヤルを回して「設定」を選び、ダイヤルを押す。

設定画面が出ます。

3 コントロールダイヤルを回して「録画機リモコンコード」を選び、ダイヤルを押す。

編集機として使う

次のページへつづく

準備2 録画機を操作するための設定を行う（つづき）

❹ コントロールダイヤルを回して、録画機のリモコンコード（番号）を選び、ダイヤルを押す。

設定画面に戻ります。

録画一時停止を解除するボタンを設定する

録画一時停止を解除するときのボタンは

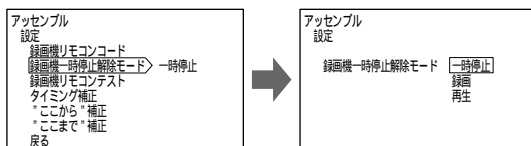
お使いの録画機のボタンに合わせて選びます。

- ❚❚（一時停止）ボタンを押すときは、「一時停止」
- ●（録画）ボタンを押すときは、「録画」
- ►（再生）ボタンを押すときは、「再生」

❶ コントロールダイヤルを回して「録画機一時停止解除モード」を選び、ダイヤルを押す。

アッセンブル
設定
録画機リモコンコード
録画機一時停止解除モード　一時停止
録画機リモコンテスト
タイミング補正
"ここから"補正
"ここまで"補正
戻る

➡

アッセンブル
設定
録画機一時停止解除モード　一時停止
録画
再生

❷ コントロールダイヤルを回して、録画機の録画一時停止を解除するためのボタンを選び、ダイヤルを押す。

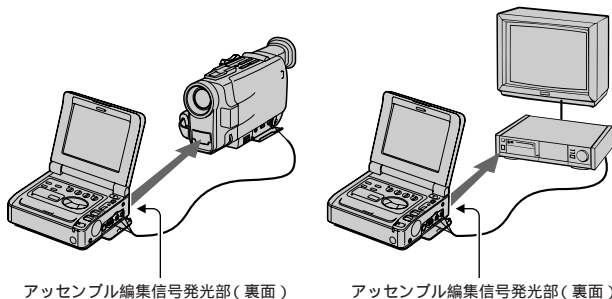
設定画面に戻ります。

ご注意

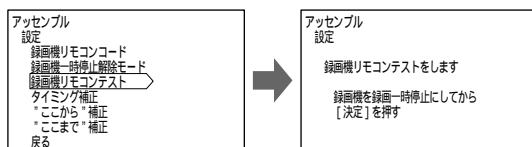
アッセンブル編集信号は、LANC端子を使って送信することはできません。必ず左図のように本機発光部と録画機のリモコン受光部を使って送信してください。

再生機と録画機の向きを合わせる

再生機と録画機を30cmくらい離して、再生機（本機）のアッセンブル編集信号発光部を録画機のリモコン受光部へ向ける。

アッセンブル編集信号発光部（裏面）　　アッセンブル編集信号発光部（裏面）

録画機がきちんと動くか確認する

❶ 「設定画面」で、コントロールダイヤルを回して「録画機リモコンテスト」を選び、ダイヤルを押す。

録画機リモコンテスト画面が出ます。

❷ 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

録画機の動作確認のために、本機から録画一時停止解除信号を送り、録画しますので、録画できるカセットを入れてください。

❸ コントロールダイヤルを押す。

録画機が録画を始めれば、正しく設定されています。

きちんと動かないときは

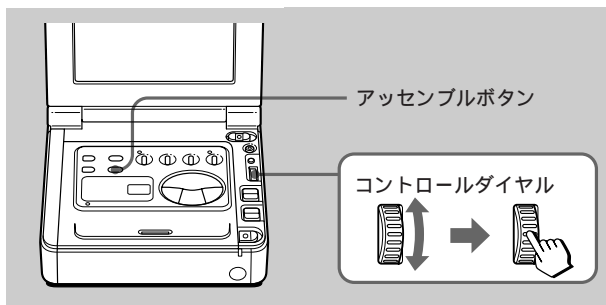
リモコンコードを設定し直してください。メーカーにより、複数のリモコンコードがあります。その場合は、他のリモコンコードに設定してみてください。

準備3 録画機のタイミング補正をする

選んだカットの始めや終わりに「欠け」や「ズレ」が起きないように、録画機が録画開始や録画停止の信号を受けてから実行するまでのタイミングを補正します。タイミングは録画機によって異なります。

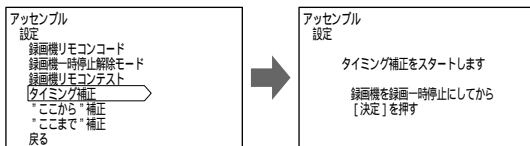
本機は、補正した分だけ早め、または遅めに、録画開始や録画停止の信号を録画機に送ります。

AV接続ケーブルでつないだ状態で行ってください。

DV接続ケーブルでつないだ状態では、タイミング補正はできません。

タイミングのズレを測定する

筆記用具をご用意ください。

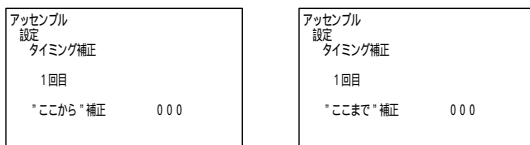
1 コントロールダイヤルを回して「タイミング補正」を選び、ダイヤルを押す。

タイミング調整画面が出ます。

2 録画機の電源を入れ、録画できるカセットを入れる。

3 録画機を操作して、録画一時停止にする。

4 コントロールダイヤルを押す。

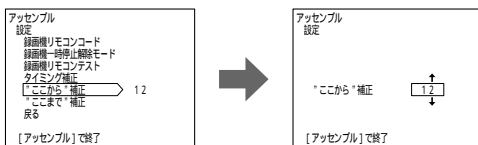
録画が始まります。

「ここから」と「ここまで」のタイミングが5回ずつ録画されます。録画が終わると、設定画面に戻ります。

❺ 録画機をスロー再生し、録画された各回の「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値を、それぞれ5回分メモする。

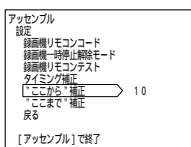
タイミングのズレを補正する

「ここから」のズレの測定値5回分と「ここまで」のズレの測定値5回分の、それぞれの平均値を計算してください。

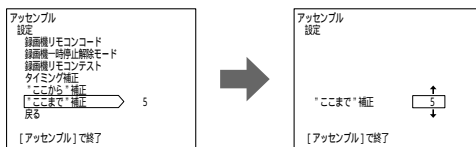
❶ コントロールダイヤルを回して「"ここから"補正」を選び、ダイヤルを押す。

"ここから"補正画面が出ます。

❷ コントロールダイヤルを回して「ここから」のズレの平均値を表示させ、ダイヤルを押す。

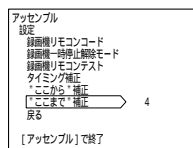
設定画面に戻ります。

これにより、録画開始のタイミングが補正されます。

次のページへつづく

❸ **コントロールダイヤルを回して「“ここまで”補正」を選び、ダイヤルを押す。**

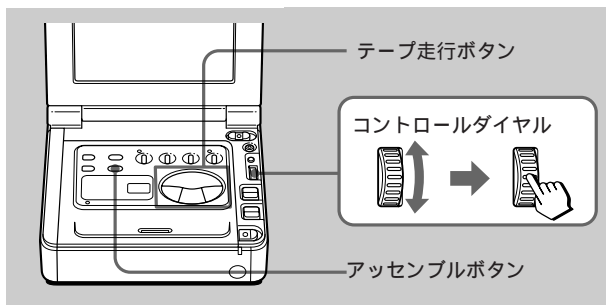
“ここまで”補正画面が出ます。

❹ **コントロールダイヤルを回して「ここまで」のズレの平均値を表示させ、ダイヤルを押す。**

設定画面に戻ります。

これにより、録画停止のタイミングが補正されます。

❺ **コントロールダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。**

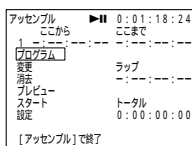
アッセンブル画面に戻ります。

プログラムを選ぶ

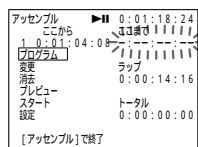
アッセンブル編集をするための場面（プログラム）を選びます。場面は、フレーム単位で選べます。

1 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。

2 本機を再生する。

3 アッセンブルボタンを押す。

アッセンブル画面が出ます。

4 テープ走行ボタンを使って、プログラムの始めを探し、再生一時停止にする。

5 コントロールダイヤルを押す。

プログラムの「ここから」が設定される。

次のページへつづく

❻ テープ走行ボタンを使って、プログラムの終わりを探し、再生一時停止にする。

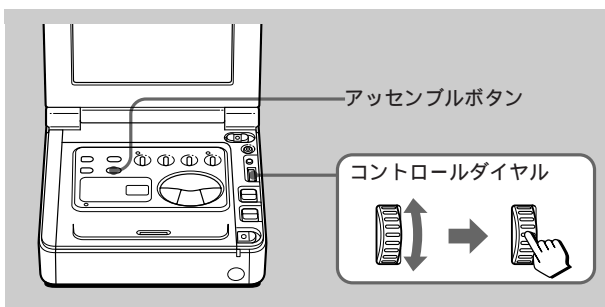
❼ コントロールダイヤルを押す。

プログラムの「ここまで」が設定される。

❽ 手順❹〜❼を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムを変更／消去する
48、49ページをご覧ください。

選んだ場面を確認する－プレビュー

プログラムを選び終わったら、正しい場面が選ばれているかを確認しましょう。

❶ アッセンブルボタンを押す。

アッセンブル画面が出ます。

❷ コントロールダイヤルを回して「プレビュー」を選び、ダイヤルを押す。

プレビュー画面が出ます。

プレビューを途中で止める
□停止ボタンを押す。

❸ コントロールダイヤルを回して確認したいプログラムを選び、ダイヤルを押す。

テープが、選ばれたプログラムの「ここまで」の位置まで送られて、そのプログラムが再生されます。

再生が終わると、アッセンブル画面に戻ります。

他のプログラムをプレビューするときは、手順❷と❸を繰り返します。

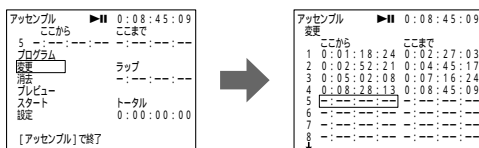
選んだ場面を確認するープレビュー（つづき）

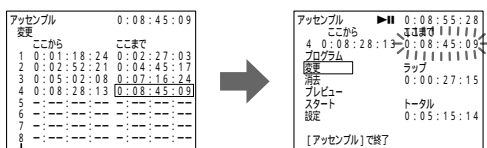
プログラムの「ここから」や「ここまで」の場面が、予定していたものと違っていたときは、変更できます。

プログラムを変更する

❶ アッセンブルボタンを押して、アッセンブル画面を出す。

❷ コントロールダイヤルを回して「変更」を選び、ダイヤルを押す。

プログラム一覧が出ます。

❸ コントロールダイヤルを回して変更したいプログラムの「ここから」または「ここまで」のカウンターを選び、ダイヤルを押す。

アッセンブル画面に戻り、選ばれたプログラムのカウンターが点滅します。

❹ 場面を選び直します。（45ページ）

プログラムを消去する

特定のプログラムを消去する

❶ **アッセンブルボタンを押して、編集画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「消去」を選び、ダイヤルを押す。**

消去画面が出ます。

❸ **コントロールダイヤルを回して「1プログラム消去」を選び、ダイヤルを押す。**

プログラム一覧が出ます。

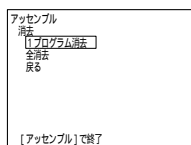
❹ **コントロールダイヤルを回して消去したいプログラムを選び、ダイヤルを押す。**

「ここから」と「ここまで」のカウンターが「-:--:--:-- 」になり、アッセンブル画面に戻ります。

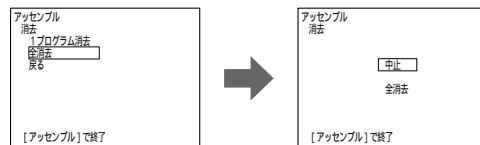
他のプログラムを消去するときは、手順❷から❹を繰り返します。

すべてのプログラムを消去する

1 アッセンブルボタンを押して、アッセンブル画面を出す。

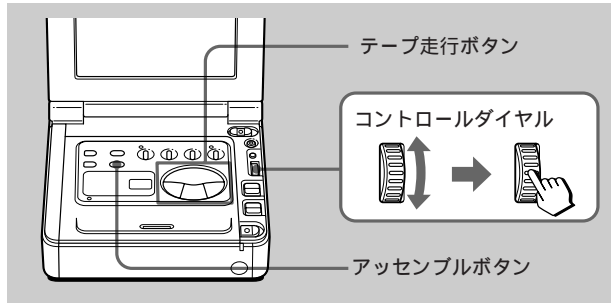
2 コントロールダイヤルを回して「消去」を選び、ダイヤルを押す。

消去画面が出ます。

3 コントロールダイヤルを回して「全消去」を選び、ダイヤルを押す。

確認画面が出ます。

消去するのを止める
「中止」を選びます。

4 コントロールダイヤルを回して「全消去」を選び、ダイヤルを押す。

アッセンブル画面に戻ります。

アッセンブル編集をする

❶ **本機を再生一時停止にする。**

❷ **録画機にテープを入れ、録画一時停止にする。**

❸ **本機のアッセンブルボタンを押して、アッセンブル画面を出す。**

❹ **コントロールダイヤルを回して「スタート」を選び、ダイヤルを押す。**

確認画面が出ます。

❺ **コントロールダイヤルを押す。**

アッセンブル編集が始まります。

編集が終了すると、本機も録画機も自動的に停止します。

編集機として使う

使えるビデオカセット

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカセットレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8, Hi8方式や、VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β, ED Beta 方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

  カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトル等）を書き込んだり、呼び出したりします。

  カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。

  CMマークの付いたミニDVカセットをお使いください。

著作権信号について

再生するとき

著作権保護のための信号が記録されているソフトを本機で再生し、そのソフトを他機で録画しようとすると、録画が制限されることがあります。

録画するとき

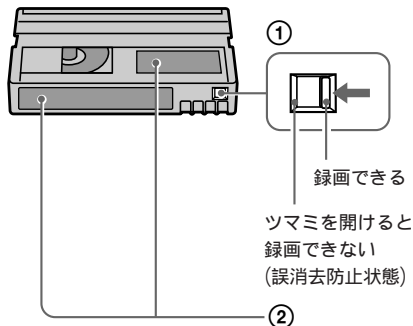
本機では、著作権保護のための信号が記録されているソフトおよび放送は録画できません。録画をしようとすると液晶画面やテレビ画面に警告の表示が現れて録画は停止します。

カセットのCM 4Kマークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM 16Kマークがついています）まで対応しています。

ミニDVカセットについてのご注意

①
録画できる
ツマミを開けると
録画できない
(誤消去防止状態)
②

間違って消さないために

カセットの背にある左図①の誤消去防止ツマミを横にずらして、「赤」にします。

ミニDVカセットにラベルを貼るときは

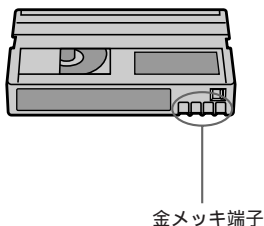
左図②の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因になります。

ミニDVカセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります。）巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

”インフォリチウム ”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される

ビデオカセットレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

”インフォリチウム ”バッテリーは、ビデオカセットレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

残量時間が5〜10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面に が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

一度バッテリーを使いきってから再度満充電してください。ただし、高温／低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続再生時間と残量表示が異なる理由

再生時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると再生時間は特に短くなります。取扱説明書に記載の連続再生時間は、満充電[*1]（または実用充電[*2]）したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続再生時間とは異なります。

*1 満充電

ACチャージャーの充電ランプが消え、液晶表示窓のバッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電したときの状態

*2 実用充電

ACチャージャーの液晶表示窓のバッテリーマークがすべて点灯するまで充電したときの状態

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、お客様ご相談センター、またはGV-D900テクニカルインフォメーションセンター（保証期間のみ）にお問い合わせください。

液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。60ページをご覧ください。

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ走行ボタンが働かない	• 電源スイッチが「入」になっていない。	•「入」にする。	6
	• テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	7
録画できない	• テープが終わりになっている。	• 巻き戻すか、新しいテープを入れる。	5、7
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• そのテープで録画するなら誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	53
	• テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	• カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	61
ノイズが多かったり、映らなかったりする	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	61
音声が小さいまたは聞こえない	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	6
	• メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	•「バイリンガル」を「切」にする。	8
	• メニューの「音声ミックス」が「ステレオ2」側になっている。	• 音声ミックスを調節する。	22
撮影日を画面に出して日付サーチできない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	10
	• メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	30
タイトルサーチできない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	11
	• メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	30
	• タイトルが入っていない。	• タイトルを入れる。	23

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
アフレコした音声が聞こえない	メニューの「音声ミックス」がステレオ1側になっている。	音声ミックスを調節する。	22
タイトルが出ない	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	30
電源スイッチを「入」にしても動作しない	• ACチャージャーのプラグがコンセントからはずれている。 • バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	• コンセントに差し込む。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。	4 36
バッテリーの消耗が早い	• 温度が極端に低いところで使用している。 • 充電が不充分。 • バッテリーの寿命。	— • 充分に充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。	— 36 36
カセットが取り出せない	• 電源（バッテリーやACチャージャー）がはずれている。 • バッテリーが消耗している。	• 電源をきちんと接続する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。	4、36 36
💧や⏏が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	61
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	53
タイトルを入れられない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 • カセットのメモリーがいっぱいになっている。 • カセットが誤消去防止状態になっている。 • 無記録部分にタイトルを入れようとしている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。 • ほかのタイトルを消去する。 • 誤消去防止ツマミを元に戻す。 • 録画された部分にタイトルを入れる。	23 24 53 23

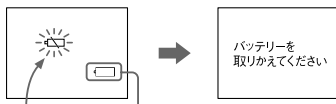
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
カセットに名まえを付けられない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	28
	• カセットのメモリーがいっぱいになっている。	• タイトルをどれか消去する。	28
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• 誤消去防止ツマミを元に戻す。	53
ダビング編集中、DVケーブルを正しく接続しているのにモニター画像が出ない	—	DVケーブルを一度ぬいてからもう一度接続し直す。	18
リモコンが働かない	• メニューの「リモコン」を「切」にしている。	• リモコンに合わせて設定を変える。	30
	• リモコンコードが合っていない。	• リモコンに合わせてメニューの「リモコン」の設定を変える。	30
	• リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	—
	• リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	• ⊕極と⊖極を合わせて、正しく入れる。	—
	• 乾電池の寿命。	• 新しい乾電池に交換する。	—
電源が入っているのに操作できない	—	ACチャージャーまたはバッテリーを取りはずし、約1分後再びACチャージャーまたはバッテリーを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは本体底面のRESETボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	4、36

警告表示とお知らせメッセージ

警告ランプが点滅し、液晶画面に次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

警告ランプのみが点滅し、液晶画面に警告表示が出ないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

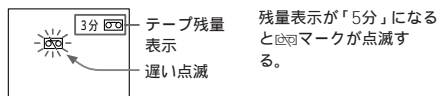
バッテリー残量

バッテリー残量表示について*

残量表示が▭になると液晶画面に▭マークが点滅する。
* 残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

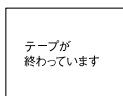
テープ残量

テープ残量表示

遅い点滅

残量表示が「5分」になるとマークが点滅する。

♪テープの終わり

録画中のみ出ます。

テープが
終わっています

日付・時刻の未設定 (34ページ)

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。(62ページ)

メニューで
日付 時刻を
あわせてください

バッテリーの寿命

インフォリチウムバッテリーをお使いのときのみ表示が出ます。

このバッテリーは
古くなりました
取りかえてください

♪カセットが入っていない

録画ボタンを押したときのみ出ます。

カセットを
入れてください

♪カセット誤消去防止 (53ページ)

カセットの
誤消去防止ツマミを
確認してください

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

♪ダビングできない (52ページ)

著作権保護のための信号が記録されている画像を本機で録画しようとしたとき出ます。

ダビングプロテクト
されています
録画できません

ヘッド汚れ (61ページ)

遅い点滅

ヘッドが汚れています

5秒ごとに

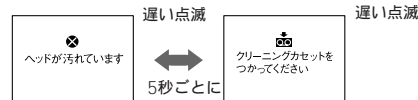
遅い点滅

クリーニングカセットを
つかってください

クリーニングカセットできれいにする。

♪結露 (61ページ)

結露しています
カセットを
取り出してください

速い点滅

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪DVケーブルの接続が正しくない

ＤＶ端子を
確認してください

♪アフレコできない（21ページ）

音声モードが
ちがいます
確認してください

16BITで記録されたテープにアフレコしようとしたときに出ます。アフレコは12BITで記録されたテープにしかできません。

ＬＰテープです
テープを
取りかえてください

LPで記録されたテープにアフレコしようとしたときに出ます。アフレコはSPで記録されたテープにしかできません。

テープを
確認してください

なにも記録されていないテープにアフレコしようとしたときに出ます。

カセットメモリーが付いていない

カセットメモリー付き
カセットを
入れなおしてください

カセットメモリーを使ったサーチや、カセットラベル、タイトルの機能はカセットメモリーの付いたカセットでのみできます。

カセットメモリーの容量が足りない

メモリーが
いっぱいです

自己診断表示機能が働いている（60ページ）

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示が出たら、60ページをご覧ください。

自己診断表示

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

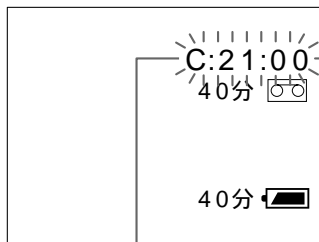
速い点滅

自己診断表示—アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
ソニーサービス窓口に相談していただく状態

表示	原因	対応のしかた	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	61
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	61
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。	—
		• 電源を一度取りはずし、取り付け直してから再度操作し直す。	—
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

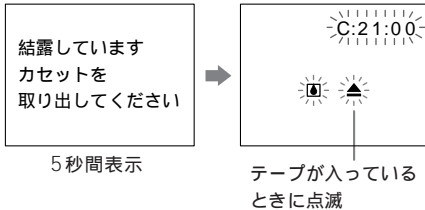
お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、液晶画面に下のように警告表示が出ます。

5秒間表示

テープが入っているときに点滅

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出し以外できません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてテープ走行ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM12CLを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画面が出ない。
- 液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「📼クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

（正常画）

や

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- 寒い屋外から暖房の効いた屋内へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し　半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも日時は記録されないままで本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACチャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz (ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz (ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークの付いたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画/再生時間	SPモード：60分（DVM60使用時） LPモード：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	約2分30秒（DVM60使用時）

入・出力端子

S映像端子	4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω不均衡
映像端子	入力／出力自動切り換え ピンジャック（1） 75Ω不平衡、同期負
音声端子	入力／出力自動切り換え ピンジャック（L、R） 入力時：327mV インピーダンス　47kΩ以上 出力時：327mV（47kΩ負荷時） インピーダンス　1kΩ以下
RFU DC OUT 端子	特殊ミニジャック　DC5V
DV入力／出力端子	4ピン特殊コネクター
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）（1）
Lランク端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）（1）

液晶画面

画面サイズ	5.5型
有効画面領域	109×81mm （幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	224,640ドット 横960×縦234

LASER AVLINK

映像／音声	IR空間伝送EIAJ*準拠
音声キャリア	L ch：4.3MHz R ch：4.8MHz

電源部、その他

電源電圧	7.2V（バッテリー） 8.4V（ACチャージャー）
消費電力	録画時　10.9W 再生時　10.2W レーザーエーブイリンク使用による再生時: 11.2W
動作温度	0℃〜＋40℃
保存温度	−20℃〜＋60℃
最大外形寸法	148×62×135mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約970g（テープ含まず）
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	AV接続ケーブル（1） S映像接続ケーブル（1） 接続コードDK-415（1） 取扱説明書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

＊EIAJ（日本電子機械工業会）規格

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカセットレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書は国内に限られています
このビデオカセットレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、また添付の“ソニーご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口、GV-D900テクニカルインフォメーションセンター（保証期間中のみ）にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社はビデオカセットレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACチャージャーAC-V700は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACチャージャーのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

各部のなまえ 使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

アフレコボタン（21ページ）

画面表示ボタン（6ページ）

タイトルボタン（23ページ）

アッセンブルボタン（39ページ）

テープ走行ボタン（45ページ）

警告ランプ（58ページ）

●録画ボタンとランプ（20ページ）

I▶スローボタン（7ページ）

II一時停止ボタンとランプ（7ページ）

▷再生ボタン（6ページ）

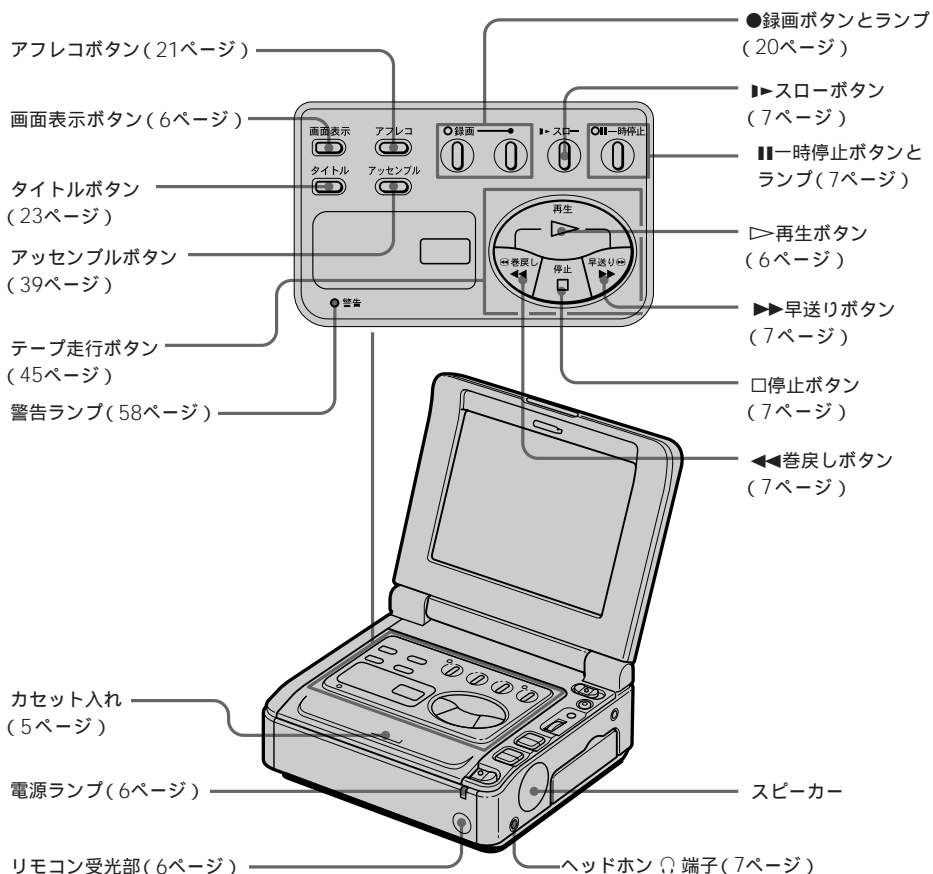
▶▶早送りボタン（7ページ）

□停止ボタン（7ページ）

◀◀巻戻しボタン（7ページ）

カセット入れ（5ページ）

電源ランプ（6ページ）

リモコン受光部（6ページ）

スピーカー

ヘッドホン 🎧 端子（7ページ）
ヘッドホンを使うときはステレオミニジャックのものをお使いください。ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

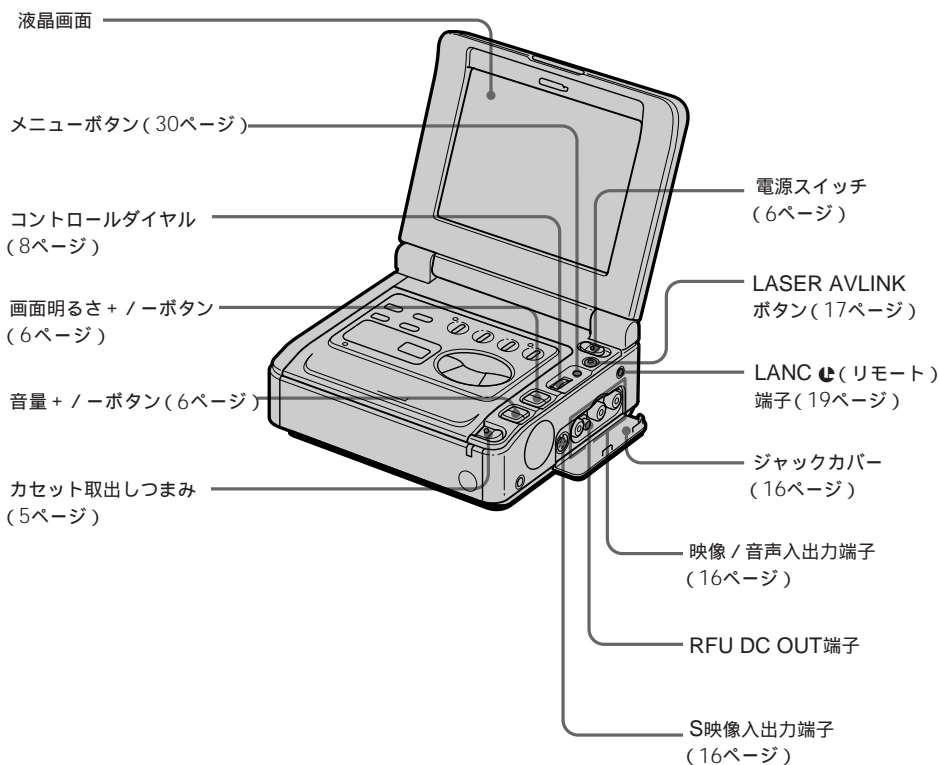
ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークが付いているビデオ機器関連商品をお勧めします。

これは登録商標です。

Cassette Memory

はi.LINKのマークです。
i.LINKとはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様技術を意味し、ソニーの商標です。

DV端子は、i.LINKに準拠したDV入出力（出力）専用の端子です。

次のページへつづく

LANC（リモート）マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

端子カバーの取りはずしかた
別売りのテレビチューナーユニットを本機に取り付けるときは、端子カバー取りはずしつまみを上にずらしながら、端子カバーをはずします。テレビチューナーユニットを使い終わったら、端子カバーを取り付けてください。

押一開ボタン
（5ページ）

液晶パネル

LASER AVLINK発光部
（17ページ）／アッセンブル編集
信号発光部（40ページ）

バッテリー取り付け部
（4ページ）

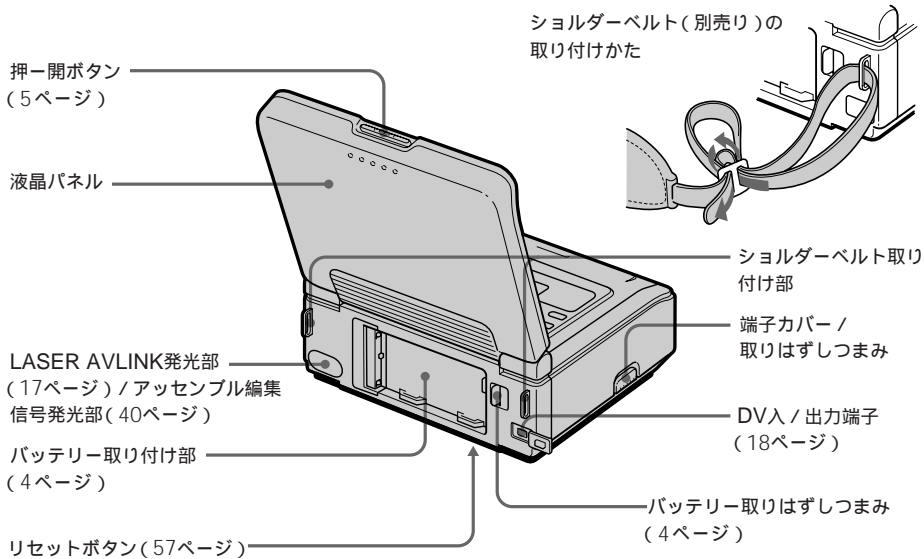
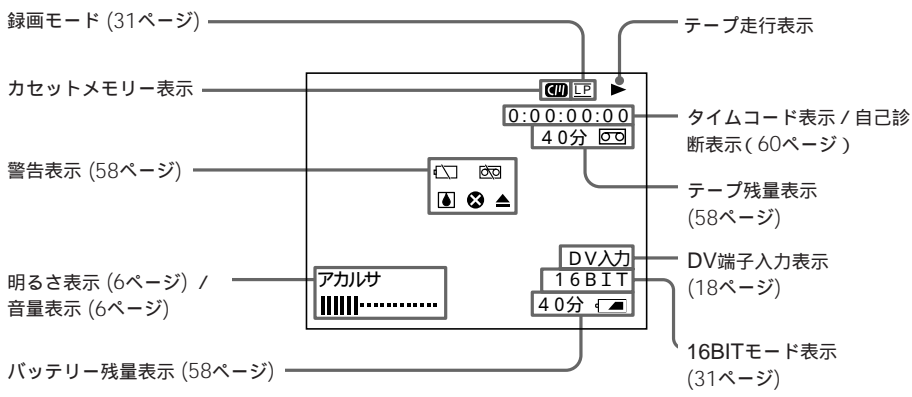
リセットボタン（57ページ）

ショルダーベルト（別売り）の
取り付けかた

ショルダーベルト取り
付け部

端子カバー／
取りはずしつまみ

DV入／出力端子
（18ページ）

バッテリー取りはずしつまみ
（4ページ）

液晶画面の表示

タイムコードについて

タイムコードは、テープの位置の指定を容易にするために、テープ上に記録される位置情報信号です。本機では、録画時にタイムコードが自動的に記録されます。タイムコードを確認するには、画面表示ボタンを押すと、液晶画面やテレビ画面に、時：分：秒：フレームで表示されます。タイムコードは、テープの先頭を0:00:00:00として、順に記録されます。ただし、テープの途中で空き（無記録部分）を作ると、その直後から0:00:00:00として記録されます。このタイムコードは後から書き直すことはできません。

また、本機のタイムコードはドロップフレーム方式です。誤差修正のために数フレームとばして表示することがあります。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax ……………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

保証期間中の故障に関するお問い合わせは

GV-D900
　テクニカルインフォメーションセンターへ
　0120-86-4021（フリーダイヤル）

ご相談になるときは次のことをお知らせください

● 型名：　GV-D900
● 故障の状態：できるだけ詳しく
● お買い上げ年月日

Printed in Japan